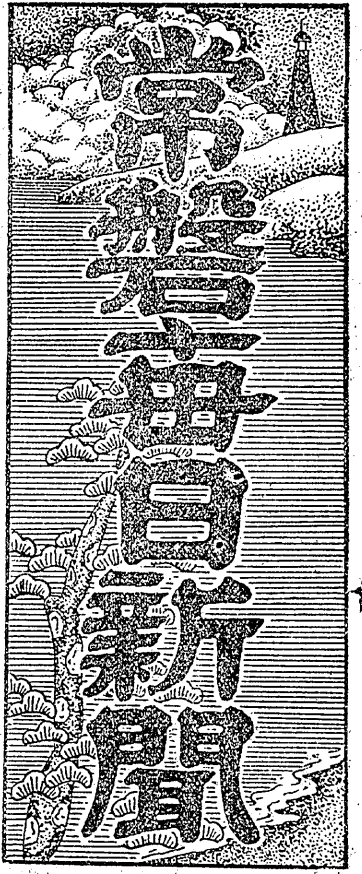


【刊夕】日五十月八



刊五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一
 (刊休日祭曜日) 錢05行1 詰字21 號5料告廣
 治 文 崎 川 人 刷 印 人 輯 網 禁 行 發
 五 三 町 橋 長 町 平 郡 城 石 縣 島 福
 番 〇 三 六 話 電 社 開 新 日 報 警 常 所 行 發
 社 會 式 株 刷 印 日 報 警 常 所 刷 印

生活に就いて(二)

澤村 生 投

私はかつて、一少女の身を以て、餘りにも矛盾多き人生の愛憎二面の相尅の姿に堪へずして、可憐にも自殺したる清水澄子の遺稿集「よゝやき」を讀んだ事があります。其中に石の塔といふ一章がありました。それはたしか、ごうくと吹いて来る風の中に、泣き叫びながら一心になつて石の塔を築く夢物語だつたと記憶します。私はなぜかこの少女の物した石のたふといふ言葉がまぎ／＼と胸に蘇るのであります。石の塔の塔、全く吾々人間の生活はこの憐なる一少女の遺して逝きし夢物語りではありますまいか、この限りなき苦行にも似た幾度積めども崩さるゝ石のたふは、吾々眞實生命と果して何の係りを持つものでありませうか、吹き息まぬ風は命を知らぬ者にとつて、永劫の呪でありませう。吾々の生活は呪の死で終つてはなりませぬ、輝く生命は永遠の信仰に立つて、不滅の世界への

精進でなければなりません。それは靈の奥底よりする唯一の行願であります。よし石のたふに代ふるに黄金のたふを以てするとも、此處に眞の安息なく、我執繫縛は依然として脱することを得ません。

昔越後の國上山上に五合庵を結び、下山しては多くの人心を化度されたといふ彼の良寛和尚の生活振りこそ、吾々にとつて最も興味深く思はれます。床下に生え出でし竹の爲には狭き庵を破つてまで其生育を愛しみ、身を食む虱すらも、同生相憐の悲心やみ難く、愛撫をこめて衣に宿したといふ奇行は、誠に以て現代人より見れば夢の世界の出来事ではありませぬか「裏を見せ表を見せて、散るもみぢ」とはこの脱俗僧の辭世であつて、寸言自ら人の頑心を覺ましめる心地がせられます。塵より出でて塵に入り、而も自由無礙の心靈は、里の童子に交はりては天真流露の子供心に返り、邪を温めて正に戻らしめ、其云ふ所書する所或は慈雨の如く人心を潤し或は風韻超脱して俗腸を洗ふに足る



雑感

三村 哲 朗

無量壽經の中に「往き易くして人無し、其國は逆遠せず、自然の牽く所也」といふ尊い一節があります。吾々の生活は畢竟心立命の四字に盡き、それは苦惱を越えて始めて來る大道自然の境なのではありませぬか。(終り)

我が心常に亂るゝ今日此のごろの窓邊に寄りつ遠山ながむも

久さしきに便りも呉れぬ我が友の想ひをいだく初秋の黄昏

ペンとれどほゞ杖ついて考へる今日此の頃の我れなりしかな

貸切の!!

御用命はゼヒ

電話三九五番へ

芹澤自動車商會

タクシ一部
貨物運輸部

外科

門 專 X
科 線 光

上田外科醫院

平町南町
電話二一九番

債券・公債・爲替金融

多田井質店

平町大工町
電話五九一番

市原醫院

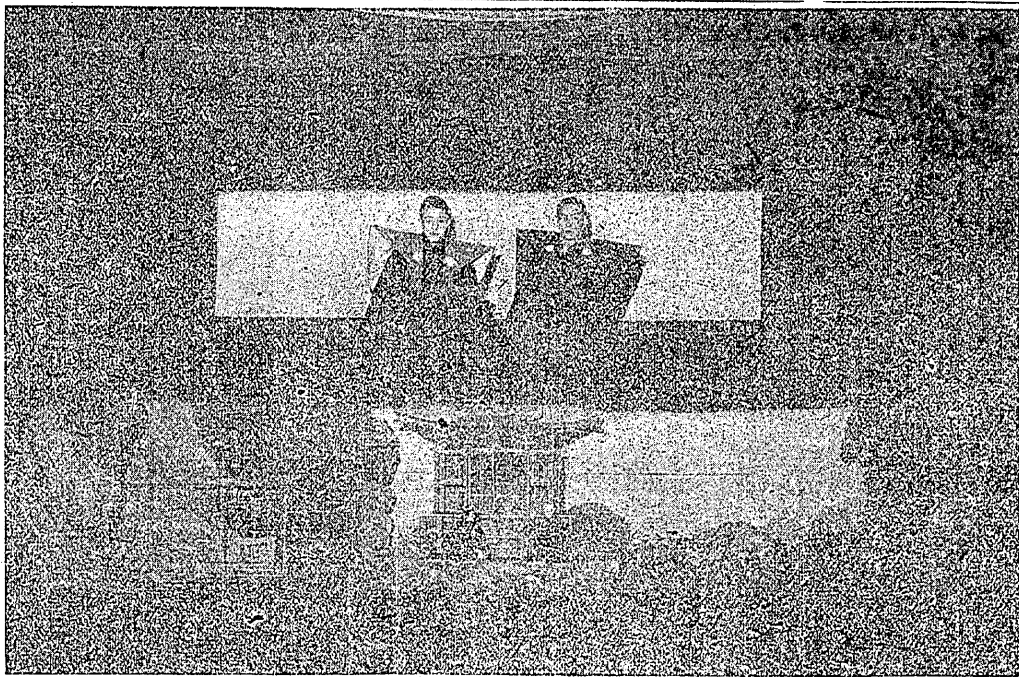
平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
 外科一般、婦人科 市原陸郎
 外科、梅毒、淋毒 市原三三男
 入院隨時

御見落す勿れ

眞に國術的藝術 結城人形劇 再び

名家元 結城孫三郎
 名人 結城一糸
 外十數名



(面場ノ記驗靈坂壺)

八月十五日二日間限り

入場料大破額金三十錢前賣券は金二十錢
各理髮店にて御買上を乞ふ

午後六時開場 於 聚樂館

難波醫院

平町新川町
【空屋新宅向】
電話五〇二番

大和田醫院

耳鼻咽喉科専門
平町南町
電話一七〇

政・民兩派が反對的

立場から批判演説

最初の彌次も鳴りを鎮め 水を打つたる如くに傾聴

四倉漁港問題

漁港修築の折半負擔問題で紛糾益々甚だしき四倉町にては一般輿論の意向を知らんと昨十四日午後六時から石城青年同盟會

主催にて海盛座に批判演説會を開いたが當日は政友派からは縣議鈴木辰三郎、前縣議井上茂作、民政

派は縣議野崎滿藏、同若松美三の四氏が夫々反對的の立場から立會演説の型ちで所信を吐露すべしとの事に早くも人氣を呼んで定刻前

から立錫の

餘地なき盛況を呈し

開會前に當つて既に彌次の應酬あり頗る殺氣立つた光景を觀取されたが先づ會長木村守江氏の司會に依つて井上茂作氏壇に起ち政民兩

黨政策の比較論に及び

民政黨の消極退嬰の政策が今日産業界の萎靡退を來すに至つた所以を完膚なき迄にコキ下すや耐りかねた民政派連は盛んに演説の妨害を始めたが井上氏

は剛聲一番「妨害ある間は此の壇上を一步も去らぬ」と大見榮を切り所論を進めたる爲め彌次も全く鳴りを鎮め水を打つたる如く靜肅に返つて傾聴、次ぎに若松美三氏

「今日町民の平均負擔額百廿數圓は過大に失する感あるも、漁港竣工後に於ける四倉町の進展を思

無誠意を方説し縣知事の更迭毎に縣の方策なるものは其都度猫の眼の如く變るべきを以つて電報一本で直ちに何れかヘフツ飛ぶ縣知事の言明等は到底當てならず頼むに足りぬものであると町民の自重を促す處あり約

一時間半に亘る大演説にシブキの聲一つなく満場全く理論整然たる卓説に聞き入り大喝采を博し最後長大和田義平氏が中立の立場から鈴木氏の説に賛意を表し午後十一時頃盛會裡に散會した

ワラ積の堆肥 石城郡勿來町農會では本月十日より榎積堆肥の講習會を開催中である講師は那農會柴田技手勿來町農會蛭田技手で日割は左の如くである

△八月十日字白米方部中野熊三方△十一月日字酒井方部蛭田源右工門方△十

朝鮮舞踊と音楽の夕

朝鮮融和を目的に 有聲座に開催

前大審院長横田秀雄氏を委員長に東大名譽教授工學博士伊藤忠太、早大教授文學博士五十嵐方、前大藏省政務次官大口喜六、東京市教育局長藤井利譽諸氏を始め學界政界の

名士を委員とし、賛助員に水野元内相其他政界知名の人士を網羅する内鮮共存會では朝鮮古來の音楽と演舞を内地に紹介し、内

鮮融和の一助となすべく朝鮮代表妓生約十六名の一團を組織し、これを各地主要都市に派し「朝鮮舞踊音楽の會」を催してゐるが、そ

一行は會長車善壽氏引率のもとに平町に來たり來る十七、八の兩日有聲座で公演する事になつた四千二百年來傳はつた朝鮮のみが持つ優れた藝術の妙味は全く地方では味はれないものであり、入場者は多數あるものと思はれる、曲目は大體左の如くであつて、なほその外に幾多の追加がある

▲高麗時代音楽 朝鮮古来の奏樂として古曲的なもので鼓琴陽琴短箏橫吹笛胡弓を合奏する

▲朝鮮琴曲合奏 鼓と小形の朝鮮琴との合奏

▲西道立唄 西道和方の民謡で多數の妓生が宴席等でにぎやかに唄ふもの

▲四鼓舞 彩とりづくりに装つた美妓四名が四つの鼓を圍んで打ちつゝ舞ふ優雅なもので王侯の前や四季の賀宴に必ず踊るもの

▲珠舞 遠く藤時代我國にあつた珠の様なものを舞踊化した優美なもので王侯が多數の官妓にこの舞を舞はせ珠を投げて負けたもの、顔に墨をぬり勝つ者へ花や寶を與へて嘉賞し

▲僧舞 朝鮮の持つ藝術として世界的に賞讃を得てゐる此舞は難行苦行の僧が山の寺から街へ勸化に出た際に踊るもので白の頭巾にくろの衣を着真赤な布を巻き踊りつゝ鼓を打つ

▲劍舞 四人の美妓が騎士の様に装はれ二つの劍を打ちふりつゝ舞ふもの之も擴く歐米へ迄紹介されて朝鮮舞踊の代表的なものと

二日字窪田馬場小松榮藏方△十三日字大高方部米内哲藏方△十七日字四澤方部小野西藏方△十八日字關田方部猪狩新一方

△新川町九 自動車大内近雄氏長女知子
△銀治町二 食料品商谷口弘仁(二〇) 石城郡小名濱町字明神町九 五十嵐ヒサエ(二三)
△新川町九 自動車大内近雄(二五) 九品寺前九 大山ヨシ(二七)
△長崎町四七 坂本シホ(二七)
△長崎町四二 菊地弘英(一ツ) 三男勲

△長崎町四七 坂本シホ(二七)

左記物件入札公賣ニ付ス希望者ハ左記御含メノ上御申出ヲ乞フ

但シ入札ノ金額カ當方ノ見積額ヨリ甚ダシク低額ナル場合ハ落札ヲ拒ムコトアルベシ

- 一、應譽虎繪掛物 一軸 外掛物數十點
- 一、六枚折金屏風 一双
- 一、金 盃 一個
- 一、銀 カツプ 三個 外二點
- 一、入札ノ日時 昭和六年八月十六日 午前九時
- 一、入札ノ場所 平町字南町六十九番地 株式會社磐越銀行内
- 一、落札代金支拂方法 落札物件引替即時拂込ノコト

磐越銀行破産管財人 辯護士 大嶺 庫 同 増田梅藏

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町町 電話五一三番

「居眠り盗人」は... 山形の強盗犯

警戒網をくぐって高飛びし 再び本性を現はす

既報十日夜石城郡内郷村字宮雜貨商大和田登方から十五圓餘在中の手提金庫を窃取逃走。後十一日夜九時同村高坂坑斜坑入口で居眠りして居た處を平署員に檢舉された山形縣東村山郡山邊村生れ強盗前科三犯村山恒治(三)は嚴重な平署員の取調べに對し平地方における窃盜五件を自白したが果然同人は豫てより山形縣刑事課で全國に手配中の強盗犯である事判明した同人は去月廿日山形縣東村山郡山邊町山邊寫眞館庭間三

郎方へ忍入り物色中家人に發見され 逃走其足で大膽にも附近の川口松次方へ押入り出刃庖丁を突きつけて金を強要したが長男に騒がれてこれも果さず逃走したがその後山形地方を荒し廻つて居るうち赤緒の草履から足が付き警戒網をくぐつて石城郡に高飛びし來り

内郷の宮で坑夫をしながら潜伏中再び本性を現し逮捕されたものである近く山形署より身柄を引取りに來る筈

舊貯水池よりも

約二倍の大きさ

配水池變更工事は 愈よ廿日から着手

平町上水道擴張工事の配水池變更工事はさきに工費一萬五千圓を以て八幡小路元グラウンドに設くべく準備中であつたことは既報の如くいよ二十日頃より變更工事に着手することになり今月末竣功の豫定で容水量五萬八千立方尺で舊貯水池の約二倍の大きさとなり目下着々進捗中の上野原より八幡小路に至る第二期工事完成の曉には大平町六萬町民に給水出來往年の如き渴

水のうきめが一掃されるわけである

大日本炭礦野球試合は十六日午前十時から勿來町窪田小學校グラウンドに行はれる當日は縣下山林大會第二日目で來會者の見物も相當あり賑ひを見せるであらう

失業救濟工

來月は完了

平土木監督所管内の失業救

濟土木工事は既に植田勿來兩町、豊間、田、山田三ヶ村は完了し目下平町、泉鹿島、川部、玉川四ヶ村を施工中だが來月一杯で完了する筈

五十圓を遺失

自動車の中に

平町播磨小路一四材木商鈴木一君は十四日午後二時小川村へ商用の爲め乗合自動車で上小川迄乗車せる際黒革鞆口に五十圓餘の現金を入れた儘紛失したので本日平署に届出たが未だに判

野狐が現はれ

鶏を奪はれる

合戸村民が大困り

子持時なので 食物を漁り歩く

石城郡合戸村地方に最近毎夜野狐が現れ人家の養鶏を捕獲し去るので村民は非常に困つてゐるが現に八日夜の如きは本間彌助方で一夜に三十羽以上も鶏を奪はれ、同家の家人が翌朝自宅裏手に出て見たる際狐は後をより返りながら裏山に姿を隠した由だが、目下狐狸の類は子持ち時なので夜間盛んに食物を漁り歩くので

時から平町マルトモホールに開催縣地方事務官船尾元吉氏及び縣屬兒山忠一兩氏の地方自治問題の講演を行ふ

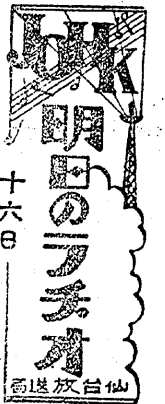
夜の街鎌田遊廓に

櫻樹を植え 吉原情緒を

平町鎌田遊廓では本年六月頃夜の街に一層の風景を添へる爲め遊廓道路の中央廣場に十九本、表門西側に三本、裏門東側に三本、同西側に二本、計三十本の櫻樹の移植方を町へ許可を願つて居たが今回町の土木委員實地調査をした結果次回の

土木委員會に許可される模様である

木炭検査指示 演三郡木炭同業組合では明十六日午前十時より平町各種團體事務所樓上で木炭の検査員會を開催し過日縣農林課より出張せる佐藤技師の木



今晚も明日も南東の風晴つたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 連續童話劇「昭和太郎君 高速度日本一周記」瀬戸内海の巻) KK子供サークル

後六、三〇 東西文學の比較「支那小説と馬琴等の小説」三 池田大伍

後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河

今晚の結城人形

昨夜から聚樂館に再び開演した結城人形劇は満員の盛況で頗る觀衆の喝采を博したが今晚は「白石人情噺」「團子串動物語」其他何れも十八番物のみを力演する

川崎知事來郡

既報本日から勿來町に盛大に開催される本縣の第十五回山林大會に出席の爲め川崎本縣知事本日來郡さる

ユース氣象通報 番組豫告告知事項

明日の部

前七、〇〇 孟蘭盆會法要 本城瑞量其他

前八、五〇 運動競技(雨天順延) 第拾七回全國中等學校優勝野球大會狀況(甲子園より中絶)

前九、〇〇 氣象通報

前九、一〇 榮養料理「南爪の味噌かけ」榮養研究所

正午 時報 氣象通報

後六、〇〇 子供の時間 連續童話劇「昭和太郎君 高速度日本一周記」大阪

後七、三〇 「盆踊」秋田縣小林ゆきの外十八名、愛知縣林かず江外大勢、宮城縣吉木桃園外五十九名、青森縣佐々木清八郎外十三名、宮城縣吉木桃園外五十九名、宮城縣鈴木せ外五十八名、秋田縣小林ゆきの外十八名

花柳科專門

木村科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

正確な時計

お客様本位の...
好適の眼鏡

正一堂盤屋時計店

小説



(十二)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

破産 (5)
ほつとなつた彼女は俄に萎えはてた足の歩みを玄關にはこんでフェルト草履を脱いだ。が、いつも五六人から目白押になつてお迎えに出る召使の女たちは何處にどうしてゐるのか今日は影だに見せなかつた。

沓脱石の上には見慣れない靴やら下駄やらが、ごた／＼と列んでゐた。茶の間を覗くと誰も居なかつた。小間使を呼んだけれども返事がなかつた。表の洋館の二階あたりからガヤ／＼と物さわがしい人聲が洩れて来る、時折異様の物音もそれに交てて聞えた。何かは知らず險惡な零圍氣がひし／＼と家の中を巡つてゐて妙に胸悸をさせるのであつた。

千代子は其處に座り込んでまゝしばらく茫となつてゐた。何を思ふともなく頭脳は不規則に混亂して只悲しい氣分のみが先に立ち譯もなく涙が流れた。
『皆は如何してゐるんだらう、そしてお母さんは……』
お父さんもお見えになら



長い椽を廻つて奥の自分の部屋へ入るなり、彼女は思はず「あら」と叫んで其處へびたりと坐つてしまつた。眸る目に映つたのは前のピアノに貼りつけた奇怪な貼札。秘藏の古代人形詩繪の手函も茶の湯道具も鏡臺も手當り次第に出して誰か、極めて見たまゝであらう、狼籍と室のなかに散亂してゐた。

ゆく先々のことを想像すると、言ひ様のない恐怖と絶望とが蛇のやうに胸にふか／＼と喰ひこんで、惱ましく心臓の血をかき亂した、平生この室に起臥を共にして朝な夕な心の遣りに少なさの冷たい頬へ愛しの接吻をしてゐた秘藏の古代人形や親しい沈黙の友である俳優の羽子板や亡き母の形見として残つた手函一杯の裝飾や、影なき樂師の妙なる音を籠めたピアノや舶來の蓄音機や、そうした最愛の昵近者に別れなければならぬ時か、突然襲つて來たのだと思ふと、惜しいなど、云

ないやうだがお二方とも店舗の方へ行つてゐるのしやるのか知ら……差押へつて一体どんなことに……やつぱり今日のうちに残らず此の品物をどつかへ運んで仕舞ふのかねえ……あゝ如何うしやう……

次の間に誰か入つて來て何か捜しながらぶつ／＼と咳いてゐる氣配だつた。
『ちよいと。誰れ』
ふつと顔を上げて呼んで見ると
『あらお歸り遊ばしたんでございませうか。私です』
さういふのが女中のお竹だつた。
『竹なの……まあ、どうしたと云ふの、一体』
『え、大變でございませうよ、お嬢さま』
お竹はいきなり襖を開けて恐怖に撲られた陰鬱な顔を出した。思な奴が大勢やつて來ましてね、何だか存じませんが家捜し見たいなことをしてびた／＼札を貼つて廻るんでございませうの、私の行李なんかも開けにかつたから引奪くらうとしましたら、怖ない顔をして懲役にやるぞつて威かすじやありませんか。まあなんてえいやな奴でせう、口痰にこう言つて、おど／＼した眼を輝かした。

季節料理

井重 0.50
なな 0.70

平田町(錦水隣り)
かば焼 魚 榮
電 4 2 4

暑中御伺

私が行先なんかも開けにかつたから引奪くらうとしましたら、怖ない顔をして懲役にやるぞつて威かすじやありませんか。まあなんてえいやな奴でせう、口痰にこう言つて、おど／＼した眼を輝かした。

婦人用傘特價品提供
ツルヤ
錢十五圓一・圓一・錢十九
電140

暑中御伺
精幸堂時計店
高橋 幸
平町橋樋小路
電話(呼)六三二番

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

醫學博士名推獎
胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器
志賀齒科醫院
福島縣平町五ノ廿八
約代 治療
福島縣平町白銀町九
産婆 關口悦子
特卸 治療
金拾參圓 藥及特効五週間分付
金拾圓 藥及特効五週間分付
表價定 賣部 藥及特効五週間分付

良服
輕快な夏服の季節となりました。スマートな新製品が豊富に取揃へて御座ひます。
◎輕裝上衣
黒セル……3.50
カシミヤ……7.80
◎白直衣 1.40
◎ツボン
白セル2.30
パンピス2.50
平二あかや洋服店 電203

内科小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話五〇七番